

第20回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会

- 1.開催日時：2021年12月1, 2日(水、木)
- 2.開催場所：京都産業大学 むすびわざ館(京都市)
- 3.会長：前田 秋彦 (京都産業大学)
- 4.開催方式：対面集会とオンライン会議

オンラインにて参加の場合は、事前に学術集会事務局に参加依頼を：Mailにて
申込願います。

5. プログラム

12月1日(水) (1日目)

受付:9時～

開会挨拶 9:45 前田 秋彦会長 (京都産業大学)

京都産業大学長

特別講演 [10:00～11:00]

座長 前田 秋彦(京都産業大学)

社会とバイオセーフティ 京都産業大学客員教授、前京都府知事 山田 啓

二

教育講演1 [11:10～12:10]

座長 北林 厚生(一社予防衛生協会、イカリ消毒)

(仮)新型コロナウイルス感染症 東北医科薬科大学 賀来 満夫先生を予定

総会 [13:30～14:10]

学会委員会活動報告[14:10～15:00]

進行 学術担当理事 森川 茂、伊木 繁雄

1) バイオセーフティ専門家制度委員会 北林 厚生

2) 学術企画委員会 伊木 繁雄

3) 国際委員会 篠原 克明

4) 実験室バイオセーフティガイドライン作成委員会、NL編集委員会 杉山 和良

休憩 [15:00～15:15]

教育講演2 [15:15～15:55]

座長 前田 秋彦(京都産業大学)

新型コロナウイルス感染症に対する京都産業大学の取組み 京都産業大学 東 あかね

一般演題1 [16:00～17:00]

12月2日(木) (2日目)

受付:9時～

教育講演3 [9:15～10:05]

座長 杉山 和良(国立感染症研究所)

農場のバイオセーフティ -畜産疾病とセキュリティ- KM バイオロジクス 津田 知幸

シンポジウム1 [10:10～12:00] (110分)

COVID-19のウイルスの起源、ワクチンとバイオセーフティ

座長 森川 茂(岡山理科大学)

- 1) SARS-CoV-2の起源を考える (30分) 国立感染症研究所 前田 健
- 2) ワクチンと変異株 (30分) 国立感染症研究所 長谷川 秀樹
- 3) 医療施設におけるバイオセーフティと感染症対策 (30分)
聖マリアンナ医科大学 國島 広之

討論 (20分)

教育講演4 [13:00～13:50]

座長 前田 秋彦(京都産業大学)

植物生産現場 一遺伝子組換えに対する取り組み一 京都産業大学 寺地 徹

シンポジウム2 [14:00～16:00] (120分)

本邦初のスーツ型BSL-4施設におけるバイオリスク管理に係る検討状況

座長 中嶋建介、黒崎陽平 (長崎大学)

- 1) 本邦初となる長崎大学のスーツ型BSL-4施設の概要 (25分) 長崎大学 中嶋建介
- 2) スーツ型BSL-4施設のハード設備 (25分) 長崎大学 黒崎陽平
- 3) 本邦のBSL4施設に適したサステイナブルな陽圧防護服の開発 (20分)
大阪大学 七戸新太郎
- 4) スーツ型BSL-4施設の消毒薬について (15分) 長崎大学 矢島美彩子
- 5) 長崎大学BSL-4施設使用に係る教育訓練プログラム策定の取り組み (15分)
長崎大学 南保明日香

討論 (20分)

6.参加費

会員:10,000円 非会員:12,000円

7.参加申込

事前に所定の払込取扱票（郵便）を送付いたします。参加者は、払込取扱票にオンライン参加の有無を記載の上、支払い願います。

非会員の方は学術集会事務局までご連絡ください。

8. 当日は会場「京都産業大学：むすびわざ会館」でも参加受付できます。

9.学術集会事務局

第 20 回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会事務局

〒305-0003 茨城県つくば市桜 1 丁目 16-2

（一社）予防衛生協会内 担当：小野孝浩、矢田則行

E-mail：tono@primate.or.jp n.yada@primate.or.jp

TEL：029-828-6888 FAX：029-828-6891

10.プレカンファレンス

11月30日（火）午後、京都産業大学むすびわざ館 3A または 301 教室で「バイオリスク管理の進め方」をテーマにグループディスカッション形式で行います。定員 20 名程度。参加希望の方は集会事務局までご連絡ください。

会場案内図 <https://www.kyoto-su.ac.jp/facilities/musubiwaza/access.html>